

青森労働局

第56.2号 63号

街灯の内訳明細表送付

東北電力青森営業所の街灯台帳をコンピュータ化したものを各町会宛送りし、一応各町会自町会の管理と照合し、保管しておいてください。疑義の点あったら営業所へ問い合わせてください。

年末年始の交通安全運動

十二月三十一日、当交通安全部員出勤、市内繁華街マチュシ配布、毎度のことながら、ご苦労さん。

受彰し感謝状

一月十日、交通事故防止、民警懇談会の開催等に協力されたとして、青森警察署署長より感謝状が当連合会に贈られた。

役員会 1/19 於東北電力会議室

・案件・規約一部改正の件

出席者 四八名

・電気料金補助基準改正の件

・その他二件とも異議なく原案通り可決

臨時総会 1/24 於木工会館

出席者 一六〇名

・案件は役員会と同じ

○規約改正については、案文は難解であるとの意見があり、字句表現について更に検討することにした。

○電気料の補助基準については、大別して意見は次の三案。補助率上位の町会はそのままにし、下位の町会の率とあけよ。

○改正案に反対である。

○改正案はいずれも検討され、役員会の承認待た案であるし賛成である。

結果として、反対の空気が強く否決された。折角何回も審議された案に承認されたのに意外な決末に終わった。役員一人が愚命に改正案を主張したが、他の役員から異論があり、他の町会長の反対も出てどうとつ、今回は見送られることになった。

今後は、いままで通り、三三年前からの旧案40日、又は、堂光の20日の料金の全額方式がつくことにし、また、補助の基本である灯数決定に関するトランプルは、今後し絶えたいことにはうう。

電気料は、道路管理の自治体が百パーセント支出する（この声はよく話題になり当然であるが、それには、国道は建設省、県道は県、市道が市で、負担とならぬは、力強い。当会から過去に何回も陳情して、いまだ成功しなかったものである。それにして、役員は役員会では、どんな議論を交わしてもよいが、決定した案は一致して総会に通さう協力を、すべきではないか。

伸言

駅前周辺町会の客引き公害

青森駅前周辺十町会で組織されている中部市町会連合町会の余合が、昭和五十四年四月

高杉会長宛てに送られた、事務局からしとの電話で、三毛参加、駅前周辺では、環境も整備され、大問題もありません。駅前周辺の中心は、駅前周辺の客引き公害である。複数の女の客引きが、街頭で客を自分の店へ強引に呼びこむ。中には、カバンや帽子をひたたくり、店へ逃げこむ者もあるという。駅前交番もあるが、顔を知っている客は、逃げれば逃げれば、どうしようものか、手入れの情報も彼等に筒抜けだという。一人つれこめば、ポン引きには、何年回りのベイトが入るので、うっかり連れこまれれば、あつて、一平一万五千円也のビル代の請求に赤い顔も青くなるというもの。お金をもって、うねりかみれば、中を穿ると、わすれられぬらしい。ワレ引張られると、こらえられ、こらえられぬのは、八丁下町の老町会長の体験報告である。当日、出席の一町会からは、地区町会住民の客引き退治大会をひらきたいとの提言があった。その後、二十六日、青森警察署に集まり、客引き防止退治大会がひらかれ、次の決議を警察署に提出された。

一、小暴力迷惑行為を町会ぐるみで退治

二、暴力飲食店の糾弾追放

三、客引きの迷惑行為目撃者は直ちに二〇番へ連絡し、本所亦、初めにビクバリの客引きが（主に男）

の小学生、旧手町（本町）で、

迅速、早急にして、香典返しをみせて

相手をさるもの

お悩をちゃんと用意してありませよ

被つてあつますよ

とされた。遥まで用意して通夜帰りを狙うとは、さすが、手町のビクバリの考えたものだ。こちらは、通夜酒席止のアルコールドリットの真面目な、行方ので、脈なしと、たかやかと退散した。つまり、口前、い気嫌で、夜の街を歩ける人には、一印象が、決る場所である。町内会だけの問題ではなく、警察、防犯協会、民警、町会、地連合町会を、それだけの機能を出し、あい、地まぐるみで対策を考えた、いものである。

故郷神代

故郷川南町会長山内政雄殿（五十八）

青森銀行へ三十数年勤務、退職後

傍系の北方商事へ勤務、心不全で、昭和五十五年十二月十九日死去